

P-C-7

新しい発酵食品（ImmuBalance）のスギ花粉症に対する臨床効果

○大塚 幸生¹⁾，潘 偉軍^{2),3)}

1) 所沢耳鼻咽喉科， 2) ニチモウ株式会社， 3) Harvard University School of Medicine, Boston, MA

【目的】新しい発酵食品（ImmuBalance）は大豆を原料に，日本特有の麹菌発酵技術に基づいた乳酸菌発酵培養物である。我々は，ImmuBalance 投与による脱感作し，乳酸桿菌属 GG（LGG）より良い影響を及ぼす効果をピーナッツアレルギーモデルマウス試験で確認し，2005年11月日本小児アレルギー学会および2006年3月米国アレルギー学会で発表した。そこで，今回，ImmuBalance のスギ花粉症に対する効果について検討した。

【方法】中等症以上のスギ花粉症ボランティア7名を応募し，一名スギ花粉 RAST 2 IU/mL 以下で除外して，6名に一日あたり ImmuBalance 1～2 g のカプセルを3ヶ月間摂取させた。臨床症状（くしゃみ，鼻汁，鼻閉，日常生活支障度など）は2002年版鼻アレルギー診療ガイドラインにてスコアで自己評価し，医師による鼻内所見についてもスコア化して観察した。また，血中非特異 IgE およびスギ特異 IgE に及ぼす影響も併せて調べた。

【成績】6名ボランティアは全員3ヶ月間の摂取を完了し，花粉シーズンのピーク期のスコアは 1.7 ± 0.8 で，昨年の 3.5 ± 0.5 に比べ，有意的に改善された ($P < 0.01$)。また，花粉シーズンのピーク期のくしゃみも有意的に改善された ($P < 0.05$)。そして，鼻汁水は昨年より改善された ($P = 0.058$)。それらにより，QOL も昨年より大幅に改善された。血中非特異性の IgE 濃度とスギ花粉特異 IgE は，ベースラインと比べ，花粉シーズンのピーク期には，若干の増加が見られた。しかし，過去における当該のそれぞれ IgE 増加傾向と比較すると明らかな抑制効果がみられた。

【結論】ImmuBalance はサプリメントとしてスギ花粉症に対する有効性があると確認した。今後，関与成分や大規模の臨床試験が必要かと思われた。これら研究は，花粉症を始めとする潜在的なアレルギーの新しい治療法となり得ると期待する。